



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.41

「お子様がよく読む本、雑誌は何ですか？」

TV誌、コミック誌が人気 本離れ現象か？

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象としたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

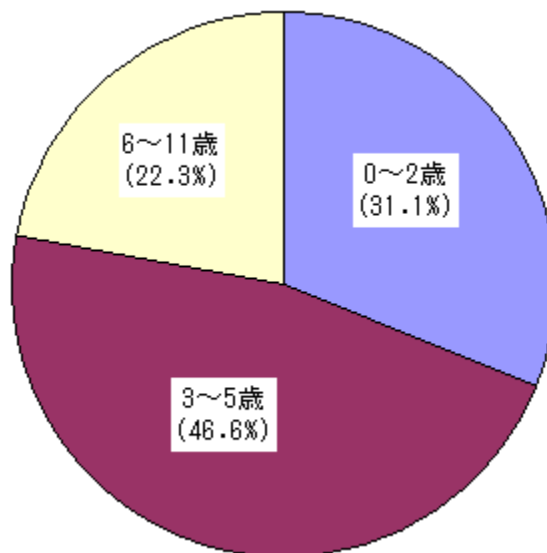
実施時期：1998年8月

質問内容：お子様がよく読む本、雑誌は何ですか

有効回答数：369人

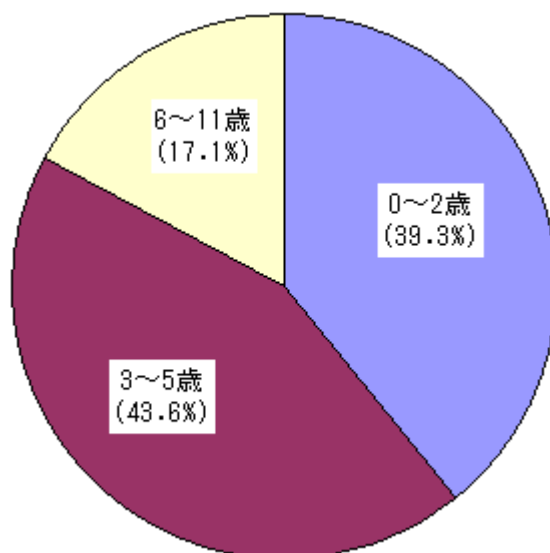
★男児の母親★

年齢内訳	0～2歳	64人
	3～5歳	96人
	6～11歳	46人
	<hr/>	
	計	206人



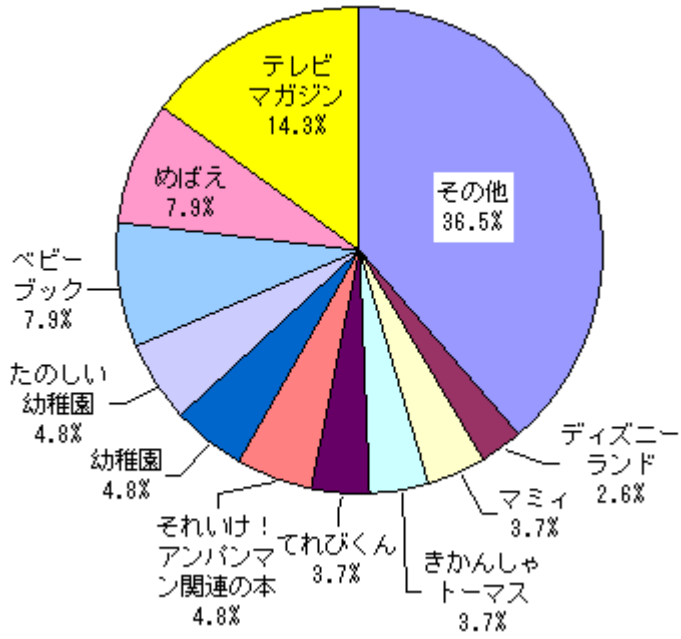
★女兒の母親★

年齢内訳	0～2歳	64人
	3～5歳	71人
	6～11歳	28人
	<hr/>	
	計	163人

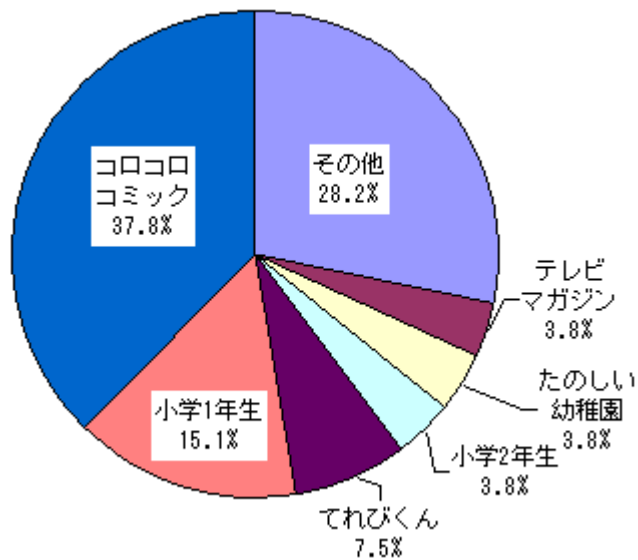


<アンケート結果>

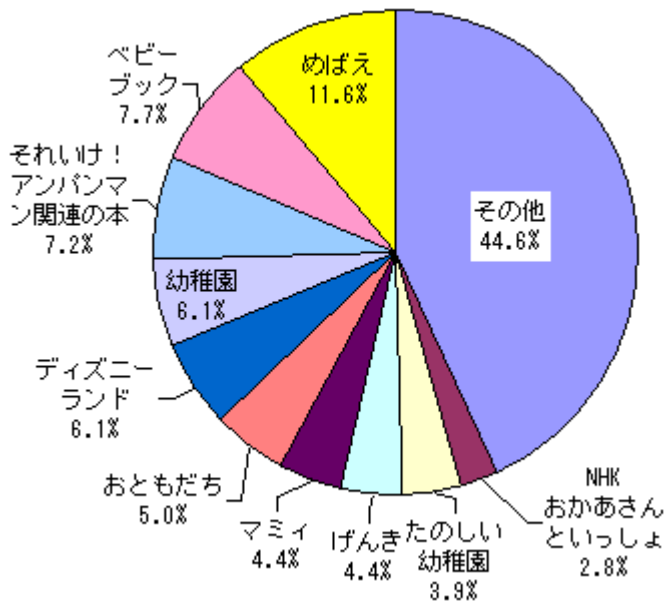
★男児 0～5 歳（160 人中／複数回答含む）



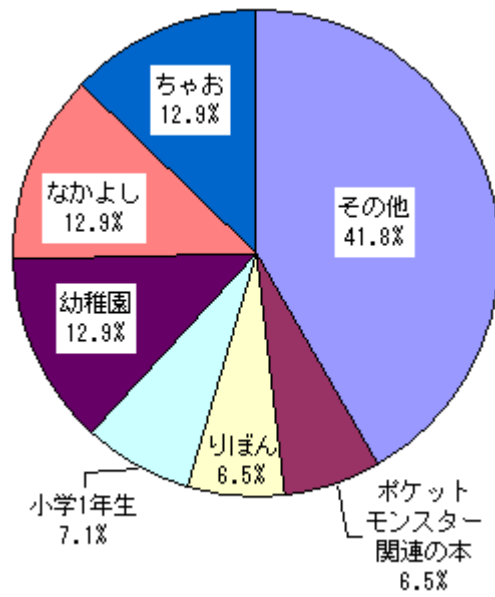
★男児 6～11 歳（46 人中／複数回答含む）



☆女兒 0～5 歳（135 人中／複数回答含む）



☆女兒 6～11 歳（28 人中／複数回答含む）



<アンケート結果より>

関連する好きなキャラクターと好きな雑誌

0～2歳では男女とも親子で一緒に読む「ベビーブック」が1位だが、3～5歳になると違いが表れた。男児では戦隊シリーズ（ギンガマン）やウルトラマンなど人気TV番組についての内容を盛り込んだ「テレビマガジン」が、女児では「めばえ」がそれぞれ1位となった。

このほか、男女差として0～2歳で女児のほうが「ディズニーランド」の人气が高い。当社が毎年行なう「好きなキャラクター」の調査でも、女児のほうがディズニーキャラクターの順位が高い。男児の「テレビマガジン」同様、男女とも好きなキャラクターに関連する雑誌を買う傾向があるようだ。

圧倒的人气雑誌不在の年長女児

6歳以上の男児では「コロコロコミック」が圧倒的な1位となったが、6歳以上の女児では抜きんできた人気を持つ雑誌は見られなかった。かつてのセーラームーンのように、突出した人気を持つ女児キャラクターが不在と言われる現象がこの辺りにも表れているようだ。

進む活字離れ？

今回の調査では「好きな本、雑誌」という尋ね方をしたが、いずれの年代でも（特に男児で）TV雑誌やコミック誌が上位にあがり、絵本や本という回答がほとんど見られなかった。今の親がこどもだった時代には、本を原作にしたTV番組が多くあり、TVを見て本を読み、活字に親しむことにつながるというケースがあったが、今はそういうことも少なくなっているのだろうか。

<年齢層別ベスト5>

★0～2歳男児（64人中／複数回答含む）

1. ベビーブック	14.3%
2. めばえ	7.8%
マミィ	7.8%
4. 車の絵本	6.5%
それいけ！アンパンマン関連の本	6.5%

☆0～2歳女児（64人中／複数回答含む）

1. ベビーブック	10.1%
2. ディズニーランド	9.0%
3. げんき	7.9%
マミィ	7.9%
5. それいけ！アンパンマン関連の本	6.7%

★3～5歳男児（96人中／複数回答含む）

1. テレビマガジン	23.2%
2. めばえ	8.0%
幼稚園	8.0%
4. たのしい幼稚園	7.1%
ウルトラマンの本	7.1%

☆3～5歳女児（71人中／複数回答含む）

1. めばえ	17.4%
2. 幼稚園	12.0%
3. おともだち	8.7%
4. それいけ！アンパンマン関連の本	7.6%
5. たのしい幼稚園	6.5%

★6～11歳男児（46人中／複数回答含む）

1. コロコロコミック	37.8%
2. 小学1年生	15.1%
てれびくん	7.5%
4. 小学2年生	3.8%
たのしい幼稚園	3.8%
テレビマガジン	3.8%

☆6～11歳女児（28人中／複数回答含む）

1. ちゃお	12.9%
なかよし	12.9%
幼稚園	12.9%
4. 小学1年生	7.1%
5. りぼん	6.5%
ポケットモンスター関連の本	6.5%

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所」の渡部尚美さんから以下のコメントをいただいております。

■こどもの好きな本、雑誌

幼児向けの雑誌といえば「ふろく」が大きな魅力であることは、こうした雑誌が創刊されて以来の伝統です。

巻頭の厚紙ページを中心に、こどもの大好きなキャラクターのカード、お面、紙で組み立てる立体人形、自分で作るキャラクター図鑑、塗り絵、迷路やクイズなどがいっぱい。こどもたちは「ふろくのつくり方」のページを見ながら、切り抜いたり折り曲げたりホッチキスでとめたりして、一生懸命作り上げます。「ふろく」と呼ばれていますが、こどもにとっては、読むページよりも魅力的な主役的な部分だったりします。

テレビやテレビゲームがこどもたちにとって魅力的であることはまちがいありませんが、それらはブラウン管の中の世界で、こどもが直に触ったりなめたり匂いをかいだりすることはできません。自分の手で触ったり、舌でなめたり、鼻で匂いをかぐといった、皮膚感覚の体験によって、こどもたちは自分が生まれてきたこの世の中を認識していくことは、今日でも変わらないことです。

雑誌の「ふろく」を組み立てたりすることは、ブラウン管の向こう側の世界とこどもの手や皮膚をつないでくれる魅力があるのでしょう。だからこそ、こどもたちは夢中になって「ふろく」に取り組むのではないのでしょうか。

自分の手で好きなキャラクターを作り上げたいという情熱は、夢中で遊んでいるうちに、工作の技術や道具の使い方、「ふろくの作り方」を読んだり理解したりする能力を育ててくれます。

大人から見るとチープな「ふろく」であっても、こどもにはフィクション世界と自分を皮膚感覚で結んでくれる「さわって遊べる雑誌」の大きな魅力要素なのです。